施策評価シート（令和７年度　実績）

【総合計画】　　【行政評価】施策１

重点的方針	公共施設の利便性、機能性を高めるまちづくり
概要	人口減少・少子高齢化社会を見据え、各機能を集約し、利便性を高めた施設への再編を進めます。再編にあたっては、老朽化した公共施設の更新・統廃合だけでなく、近年激甚化している自然災害への対応、人生100年時代に即した町民活動の推進、そして子育て世帯や高齢世帯の支援など、すべての世代が暮らしやすくなるよう検討していきます。 新庁舎整備をはじめとする生涯学習センター・ラディアン周辺への行政機能の集約にあたっては、災害時における拠点機能の強化、行政機能の向上、「脱炭素社会」のモデルとして着実に進めるとともに、すべての世代、様々な立場の方々に配慮した居心地の良い空間としていきます。 そして、多様化する町民ニーズに対応するため、誰もが理解しやすいデジタル化を進めるとともに、様々な手続きのワンストップ化さらにはノンストップ化を目指し、時代に即した町民サービスを提供します。

【総合戦略】

関連する総合戦略の基本目標							
基本目標１	『ひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる』						
	数値目標	住み続けたいと思う町民の割合　（%）	基準値	R５	R６	R７	R８	R９(目標)
			86.8	80.1	78.9	81.7		88.0

関連する総合戦略の施策	
施策番号	施策名
施策１-１	公共施設のマネジメントと新たな魅力の創出

No.	関連する主な予算等事業	戦略該当	トータルコスト（千円）				庁内評価（２次評価）			
			R5	R6	R7	R8	R5	R6	R7	R8
1	新庁舎整備事業	○	201,124	114,754	140,437		適当・維持	適当・維持	良好・維持	
2	生涯学習センター管理運営事業		71,333	74,623	110,310		適当・維持	適当・維持	適当・維持	
3	図書館運営事業		31,979	33,397	33,295		適当・要改善	適当・要改善	適当・要改善	
4	消防庁舎維持管理経費		10,326	6,861	6,734		良好・維持	適当・維持	適当・維持	
5	保健センター管理運営経費		6,622	6,619	6,298		適当・維持	適当・維持	適当・維持	
6	デジタル推進事業		64,495	64,461	166,066		良好・維持	適当・維持	適当・維持	
7	東大果樹園跡地活用事業	○	9,833	6,259	6,239		適当・要改善	適当・要改善	適当・維持	
8	財産管理経費	○	11,447	6,749	9,614		適当・維持	適当・維持	適当・維持	
9	行政改革推進事業	○	798	1,023	923		適当・維持	適当・維持	適当・維持	
－	その他		2,705,013	3,050,658	3,292,740					
合計			3,112,970	3,365,404	3,772,656	0				

※達成状況：A　達成（100%以上）、B　概ね達成（70%以上）、C　充分とは言えない（50%以上）、D　未達成（50%未満）

関係する主な重要業績評価指標（KPI）							
指標名		基準値	R5	R6	R7	R8	達成状況
公共施設の総延床面積(㎡)【総合戦略】 （　町が直接管理する施設　）	計画	68,729.08	68,589.08	68,449.08	68,309.08	68,169.08	A
	実績		68,607.07	66,570.30	66,570.30		
1地区１地域集会施設化(施設)【総合戦略】 （　町が維持管理費を計上する施設　）	計画	25	24	23	22	21	A
	実績		24	23	22		
ラディアンの稼働率(%)【総合戦略】	計画	施策５にて評価					B
	実績						
図書館の年間貸出者数(人)	計画	80,121	81,000	81,000	81,000	72,500	B
	実績		79,151	78,751	78,888		
行政手続きのオンライン化(件)【総合戦略】	計画	施策６にて評価					B
	実績						
住民票等の証明書のコンビニ交付件数(件)【総合戦略】	計画	施策６にて評価					A
	実績						
東大果樹園跡地を専用予約で利用した新規団体数(数)【総合戦略】	計画	0	2	4	6	8	D
	実績		1	1	1		

令和6年度	成果	・新庁舎基本設計が完了し、次年度のDB（デザインビルド方式）発注にむけての準備を進めた。 ・地域集会施設については、富士見が丘2丁目会館新築工事及び中里老人憩いの家の耐震改修工事を完了するとともに中里西公会堂の耐震改修設計を完了させた。 ・町民温水プールの廃止に伴い、公共施設の総延べ床面積が削減された。 ・生涯学習センターラディアン及び図書館については、大規模改修実施設計に向け検討を行うとともに、工事に伴う休館期間(R9.1月からR10.12月)の事前周知を開始した。
	課題等	・公共施設再配置・町有地有効活用実施計画短期期間の終了（令和９年度）に伴う計画の見直し。 ・上記計画への新庁舎と学校の位置づけ、財政計画を見据えた新たな延床面積削減目標の設定及びシンボル事業として実施してきた「東京大学果樹園跡地」についても今後の活用を再検討する必要がある。 ・生涯学習センターラディアンについては、大規模改修を進めるとともに、適切な維持管理を行う。 ・図書館については、利用者が減少傾向にあることから、更なる魅力発信や利用促進に取り組む必要がある。
令和7年度	成果	・新庁舎整備事業は、建設を予定している北棟、南棟ともに、DB（デザインビルド方式）を採用し、事業者選定についてはプロポーザル方式により決定、契約をした。 ・地域集会施設については、「中里西公会堂」の改修工事を実施し、改修工事終了後に自治会管理へ移行したため、当初目標としている「１地区１施設の町管理」への推進が図られた。 ・廃止した旧温水プールについては、新たに「地域資源循環型活用施設」として、指定管理者制度を活用した管理へと移行した。 ・生涯学習センターラディアン及び図書館については、大規模改修実施設計を始め、工事に伴う休館期間(R9.1月からR10.12月)の事前周知及び各種団体への代替施設相談を開始した。
	課題等	・公共施設再配置・町有地有効活用実施計画の終了（令和９年度）に伴う計画の見直し。 ・上記計画への新庁舎と学校の位置づけ、財政計画を見据えた新たな延床面積削減目標の設定及びシンボル事業として実施してきた「東京大学果樹園跡地」についても今後の活用を再検討する必要がある。 ・生涯学習センターラディアンについては、大規模改修を進めるとともに、適切な維持管理を行う。 ・図書館については、年間貸し出し数が微増傾向にあるが、今後、大規模改修に伴う閉館も控えているため、代替措置について、検討する必要がある。

※評価 「Ａ：十分な成果があった」「Ｂ：一定の成果があった」「Ｃ：あまり成果がなかった」「Ｄ：成果が得られなかった」

内部評価（評価・理由等）	
Ｂ：一定の成果があった	・新庁舎整備を着実に推進させたほか、未耐震の地域集会施設について、建替、耐震化などを進め、地区内に複数の集会施設がある地区においては、改修後の維持管理を自治会で実施してもらうよう話し合いを行い、１施設が自治会管理となった。 ・旧町民温水プールは、他の施設として新たに条例設置したため、公共施設の総延べ床面積が削減には繋がらなかったが、指定管理者制度を活用することで、町が直接、維持管理経費をかけることがない手法を取り入れることが出来た。 ・生涯学習センターラディアン及び図書館の大規模改修による更なる魅力向上に向け取り組みを進めている。 ・町民が魅力を感じ、住み続けたいと思える町とするため、位置付けた施策の取り組みを一層推進することで、基本目標の達成を目指す必要がある。